TOPPERS-基礎3セミナー 事前セットアップ

TOPPERSプロジェクト 教育ワーキング・グループ



開発環境とプラットフォーム

- 1. ARM用クロス開発環境のセットアップ
- 2. エデッタとUSBシリアル



クロス開発環境:ターゲットシステムとホストシステム

組込みシステムはクロス開発により開発する

クロス開発

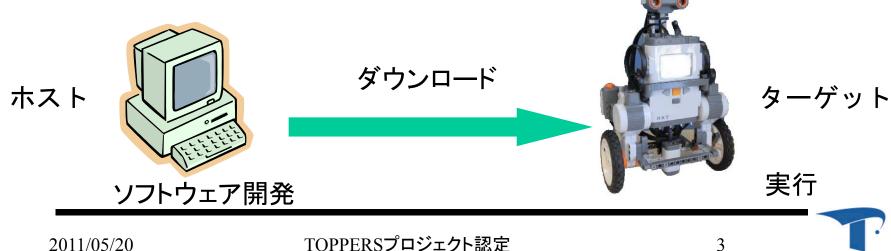
- 開発環境(ホスト)と実行環境(ターゲット)が異なる開発形式
- -機械語も異なる
- ━セルフ開発

ホスト

- ソフトウェアを開発する(開発環境を実行する)計算機

ターゲット(ターゲットプロセッサ)組込みシステム

- 開発対象の計算機(システム)



組込みソフトウェア開発に使われるプログラミング言語

C言語

ハードウェアを直接操作するプログラミングが可能であるため、組込みソフトウェア開発では、最も使われている

アセンブリ言語

- DSPなどの特殊なプロセッサで使われる場面が多い
- コンパイラが扱えない特殊命令を直接記述して、性能を出す

C++言語

- 利用は広がっているが、まだ限定的
- オーバーヘッドが大きい
- どのような実行コードになるか見えにくい



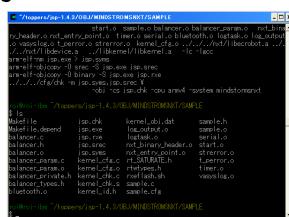
NXT用のプログラムを開発するための開発環境

- NXTはARM7プロセッサが使用されている
 - ARM用コンパイラとアセンブラが必要
 - GNUのARM用コンパイラを使用する
- GNUの実行にはUNIX環境が必要
 - Windows上で動作するUNIX環境: Cygwinを使用する
- NXT用の開発環境を構築するため必要なこと
 - CygwinとARM-GNUコンパイラのインストール
 - Cygwin(UNIX)の開発手法について学ぶ

DOS窓のようなCygwinのコマンド環境 ここでb-shell(bash)が実行できる







開発環境:GCC

- GNUプロジェクトにより開発されているオープンソースの コンパイラ
- GCCは「GNU Compiler Collection」の略であり、名前が 示すように多くの言語(C、C++、Objective-C、 FORTRAN、Java、Ada)をサポート
- 多くの種類のプロセッサをサポート
 - Alpha、ARM、AVR、H8、IA64、M32R、M68K、MIPS、SH、SPARC、V850
- GCCはアセンブラやリンカとしてbinutilsを呼び出す
 - アセンブラ(gas)、リンカ(ld)、オブジェクトダンプ (objdump)
- デバッガとしてはGNUプロジェクトより同じくオープンソースのソフトウェアとしてgdbが提供されている



開発環境: Cygwin



- 一般的なGNU開発プログラムを含むUNIXのプログラムをWindows上で動作させるための環境
- Cygwinライブラリ(Cygwin.dll)によりUNIXのシステム コールを提供(バーチャルマシンではない)
- ほぼ全てがGPL/X11ライセンスのフリーソフトウェア
- Cygnus Solution社(現在はRed Hat社の一部)が開発
- インストールはCygwinのホームページからダウンロードできるインストーラを用いる
- インストール方法は書籍を参考のこと
 - Cygwin+CygwinJE-Windowsで動かすUNIX、佐藤 竜一、アスキー
 - Cygwin—Windowsで使えるUNIX環境、川井 義治、 米田 聡、ソフトバンクパブリッシング



C言語のツールチェーン

C言語コードを実行コードに変換するためのツール郡

コンパイルドライバ

- ・実行コードを生成するまでの一連の 処理を実行
 - 一プリプロセッサ, コンパイラ, アセンブラ, リンカを呼び出す

プリプロセッサ

#includeやマクロを展開

コンパイラ

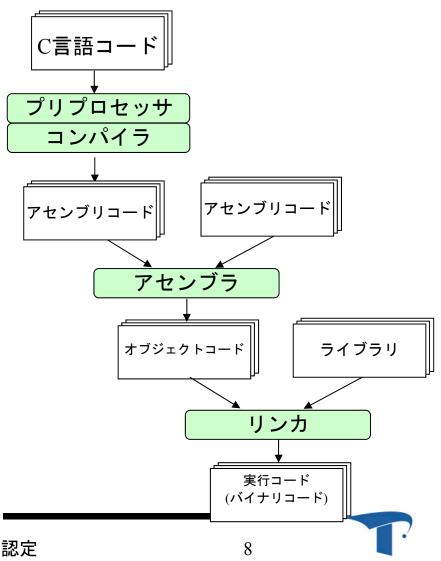
プリプロセスされたC言語コードをアセンブリコードへ変換

アセンブラ

アセンブリコードをオブジェクトコード (機械語プログラム)に変換

リンカ

複数のオブジェクトコードとライブラリをリンクし実行コードを生成する



TOPPERS

• CygwinのサイトからCygwin 1.5.x以降のバージョンをダウ ンロードし、Windows-XPまたはWindows-7にインストール します(makeのバージョンは3.81以降をお勧め)

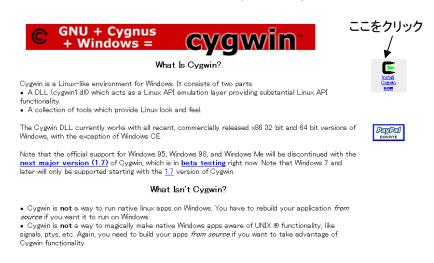


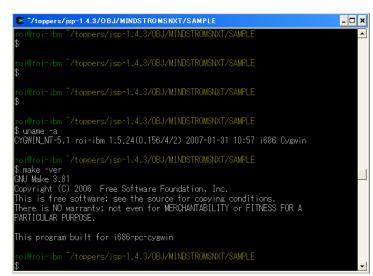
Cygwinサイト http://www/cygwin.com/

注意

トラブル回避のために、すでにCygwinをインストール済みの方は、バージョ ンの確認をお願いします

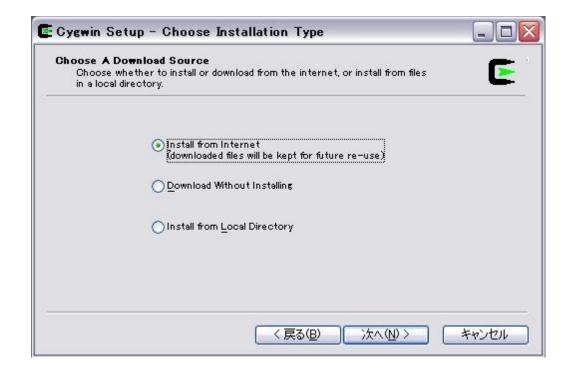
Bash上で、uname -a(return)がCygwinのバージョン問い合わせ、 make -ver(return)がmakeのバージョン表示です







setup.exeを起動して、インターネット経由のダウンロードインストールまたはダウンロード後インストールのどちらかを選択できます

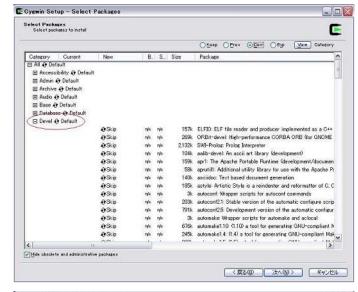


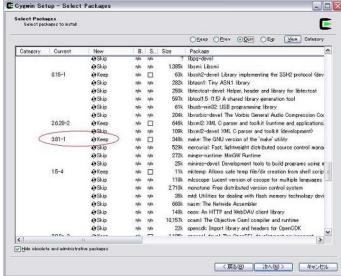
マルチバイト文字およびスペースを含まないディレクトリにインストールします(例: C:\(\frac{1}{2}\)cygwin)



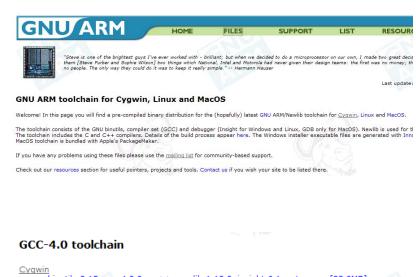


- makeのバージョンは3.81-1を選択します
- makeコマンドはmakeファイルの記述に従って、ビルドの手順を指定するコマンドです





- GCCのインストールは、 GCCのソースコードをダウンロードして、インストールが可能ですが、手順が複雑なため、ここではET事務局で指定の手順のバイナリインストールを行います
- 指定の(bu-2.16.1 gcc-4.0.2-c-c++ nl-1.14.0 gi-6.4.exe)をダウンロードしてください



binutils-2.15, gcc-4.0.0-c-c++, newlib-1.13.0, insight-6.1, setup.exe [23.0MB] binutils-2.16.1, gcc-4.0.1-c-c++, newlib-1.13.0, insight-6.1, setup.exe [26.4MB] binutils-2.16.1, gcc-4.0.2-c-c++, newlib-1.14.0, insight-6.4, setup.exe [24.8MB] GNU/Linux (x86_64) binutils-2.16.1, gcc-4.0.1-c-c++, newlib-1.13.0, insight-6.1, TAR BZ2 [61.6MB]

binutils-2.16.1, gcc-4.0.1-c-c++, newlib-1.13.0, insight-6.1, TAR BZ2 [61.6MB] binutils-2.16.1, gcc-4.0.2-c-c++, newlib-1.14.0, insight-6.4, TAR BZ2 [65.5MB]

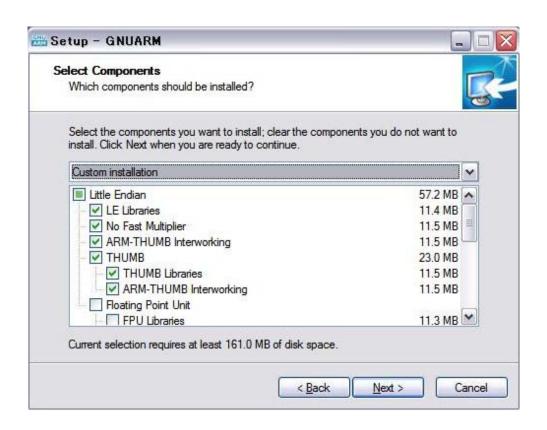
GCC-4.1 toolchain

Cygwin

binutils-2.16.1, gcc-4.1.0-c-c++, newlib-1.14.0, insight-6.4, setup.exe [25.3MB] binutils-2.17, gcc-4.1.1-c-c++, newlib-1.14.0, insight-6.5, setup.exe [25.1MB] GNU/Linux (x86_64)



- インストールディレクトリはUINX風に C:\footnote{\text{C:Ycygwin}\footnote{\text{UINX}\text{Blocal}}にインストールします
- NXTで使われている ARM7(ATML AT91SAM7S256)に はlittle Endian, Floating Point Unitな し,THUMBコードの 対応を行うために以 下のダイアルログの 設定としてください





- Cygwinはインストール済みのため、"install Cygwin DLLs..."は選択しないでください
- インストール終了時に、GNU ARMインストールディレクトリに対するWindows環境変数(パス)登録を確認されますが、パスを登録する必要はありません



- 自分のHOMEディレクトリ の.bash profileの内容を修正します
- .bash_profile中のexportコマンドにインストールしたARMGCCのコマンドパス (/usr/local/GNUARM/bin)を追加します
- Cygwinの起動後コンパイラ等のコマンドが使用できるようになります
 - arm-elf-gcc コンパイラ
 - arm-elf-ld リンカ
 - arm-elf-ar ライブラリアン



export PATH=\${PATH}:/usr/local/GNUARM/arm-elf/bin

開発環境とプラットフォーム

- 1. ARM用クロス開発環境のセットアップ
- 2. エデッタとUSBシリアル



テキストエデッタのインストール

- JSPのカーネルソース、教材のプログラムの漢字コードは EUC-JP、改行コードはUNIXと互換のLFとなっています
- Cygwinの環境で参照、修正を行う場合は、UNIX互換漢字コード、改行コード対応のエデッタを使用してください





漢字コード、改行コードを自動変換する エデッタ: TeraPad



TeraTermのインストール

- TeraTermは、シリアル通信とTelnet通信に使用します
- TeraTermをインストールしていない場合は事前のインストールをお願いします
- TeraTermは「窓の杜」等からダウンロードできます

USBシリアルの設定

- USBシリアルをお持ちの方は、通信可能な状態でセミナーに参加してください
- USBシリアルをお持ちでない方は、セミナーで配布、インストールを行いますので、事前の準備の必要はありません